

書籍紹介

森づくり安全技術マニュアル

森づくり安全技術・技能全国推進協議会／発行

基礎から応用へ 技術を高めて、森づくりを楽しもう!

森づくり活動における安全の確保はますます重要な問題となってきています。安全な作業には、正しい知識と技術の習得が重要です。

このマニュアルは、同協会が主催する「森づくり安全技術・技能習得制度」（基礎から応用へ段階的に森づくりの技術を習得できる認定制度）のテキストとして使用されているものです。森林・樹木の基礎知識から森林作業まで、安全な森づくり活動に必要な知識・技術を体系的に学べるよう、世界の最新の知見や日本のトップランナーである林業指導者の助言を取り入れて制作されています。

「基本編」「動力機械編」「応用作業編」（在庫不足によりPDF配布のみ）「指導編」の4部構成されており、ボランティア向けとしては他に類のない充実した内容となっています。



森づくり安全技術・技能全国推進協議会への寄付の返礼品として、入手が可能です。（2,000円につきいずれか1冊）。下記のサイトの情報入力フォームにお名前、ご住所、必要部数を入力し送信してください。もしくは、下記事務所へ電話等でご連絡ください。
www.mori-anzen.com/textbook/

入手するには

発行者
お問合せ

森づくり安全技術・技能全国推進協議会（FLC）事務局
〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-7-4 砂防会館別館 国土緑化推進機構内
TEL 03-3262-8437 FAX 03-3264-3974
メール 2011flc@gmail.com サイト www.mori-anzen.com

基

基本編 充実した基礎知識

森づくり活動を始めようとする方に、まず手にして頂きたい本です。樹木・森林の基礎知識、危険な動植物、色々な手道具やロープの使い方、森林作業の目的と方法、手道具を使った伐倒作業のポイント、事故の類型と事故事例などを収録しています。ハチや熱中症対策など、作業以外で起こり得る事故の対策も広くカバーしています。

機

動力機械編 動力機械の取扱と事故事例

動力機械はそれ自体に大きな危険が潜むため、正しい知識と技能を持って取り扱うことが重要です。この本では保護具の機能、機械の機能、点検整備から、動力機械による作業の方法や事故事例などを収録しています。また、動力機械に関する法令も一部収録しています。

指

指導編 伝わる指導のポイントとは

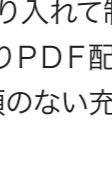
指導者を目指す方に向けて、必要な心構えや伝わる指導のためのポイントを解説しています。自己流を押し付けることなく、自ら考えて上達する人を育成するには指導力が必要です。無理なく充実した活動のための計画づくり、リスクマネジメントの考え方についても解説しています。

応

応用作業編 かかり木処理・ロープワーク

森林作業の中でも特に事故が多いかかり木処理、広葉樹や偏心・変形した木の伐倒、ロープを使った牽引、伐採した木の集材、薪づくり、炭焼きの作業等について解説しています。

巻末では、研修会で目立つチェーンソー作業の悪いクセを写真で説明しています。チェーンソー作業に慣れた方にお勧めする、技術をさらに一步進めるページになっています。



指

指導編 伝わる指導のポイントとは

指導者を目指す方に向けて、必要な心構えや伝わる指導のためのポイントを解説しています。自己流を押し付けることなく、自ら考えて上達する人を育成するには指導力が必要です。無理なく充実した活動のための計画づくり、リスクマネジメントの考え方についても解説しています。

このニュースレターは横浜みどりアップ計画の「市民とともに次世代につなぐ森を育む」取組として発行しています

◇次号NO.100は平成31年3月末頃の発行予定です。◇

横浜みどりアップ計画

平成31年2月発行

よこはまの森

横浜みどりアップ 葉っぱ
No.99

横浜市環境創造局みどりアップ推進課 〒231-0017 横浜市中区港町1-1 tel 045-671-2624 fax 045-224-6627
【よこはまの森ニュースレターHPアドレス】<http://www.city.yokohama.lg.jp/kankyo/kyoudou/morivolunteer/mori-news.html>

森づくり体験会を開催します

～森づくりの輪 広げよう～

横浜市では、森を育む「人」を育てる取組として、森づくり活動団体への活動支援を行っています。

また、個人で登録いただいている「森づくりボランティア」の皆様には、森に関する情報提供を行っています。今回の体験会では、「森づくりボランティアに登録すると、どんなところで活動できるのかな?」「森づくり活動といっても、何をするんだろう?」といった疑問をもつ方に、実際に森づくり活動団体を「体験」していただきます。

- ◆ 日 時 平成31年3月9日（土）
- ◆ 場 所 10:00～12:00 頃解散予定
(集合：戸塚駅 9:00)
まさかりが淵市民の森（戸塚区汲沢・深谷町）
- ◆ 内 容 森づくり活動団体「みどりの学校」の活動に参加し、落葉樹林の手入れ（枯れ枝拾い、常緑樹の間伐）を行います。

【申込方法】申込期間：～3月6日（水）

下記①～④の内容を記載した本文に「森づくり体験会」と明記し、お申し込みください。

①団体名（所属があれば）②参加者氏名 ③電話番号 ④メールアドレス（添付ファイル受取の可・不可）

✉ ks-jurinchi@city.yokohama.jp

※携帯電話で迷惑メール防止のためにパソコンからのメールを受信できないよう設定されている場合は、お手数ですが、アドレス「ks-jurinchi@city.yokohama.jp」の受信ができるよう、設定変更をお願いします。

森づくり個人ボランティア
に登録しませんか？

現在 127 人の方に登録いただいています



すでに既存の森づくり活動団体で活動している方でも登録は可能です。登録いただくと、上記の森づくり体験会のほか、次ページで紹介されているような森づくりに関する研修のご案内が定期的にお手元に届きます。森づくりに関する知識技術向上の他、他の森での活動を体験する機会やボランティア同士の交流の場として、個人ボランティアに登録しませんか。

森づくり体験会 受け入れ団体 募集！

「体験会」の開催により森づくりに関心のあるボランティアとの接点が生まれ、多くの方に活動を知りたい機会にもなります。

体験会の開催にあたっては、活動内容の調整など個別に打合せをさせていただきますので、森づくり個人ボランティアの受け入れを前向きにご検討いただける団体の方は、みどりアップ推進課までご連絡ください。

1月の体験会
上川井市民の森



民話の残る宇田川
「まさかりが淵」に
隣接する
なだらかな森です。



森づくりボランティアとは？

森づくりボランティア入門講座

どんな活動をするのだろう？

H30年6月17日（日）**1**日目

1日目は横浜の森保全施策と森づくり活動、また横浜の森の特徴と課題の講義を受けた後3班に分かれて新治市民の森ツアーオーに出発しました。前日までの雨で足元の悪い中、新治市民の森愛護会の方に解説いただき、森の中を散策し、森を読み森を知るための森の断面図を作成しました。

ガイダンス、横浜市の森について



横浜市の森と緑の保全施策の取組と、横浜の森の特徴と課題について学びました。

新治市民の森ガイドツアー



いはる里山公園に集合し、新治市民の森の愛護会の方に、森づくり活動の成果を解説していただきました。

断面図の作成



3日に草刈りを行う作業予定地にて、森の植生、保全する植物、地形について観察し、皆で断面図を描きました。

H30年6月24日（日）**2**日目

2日目は午前中、保全管理計画、森づくりガイドライン、安全な森づくり作業についての講義を受けました。午後からは、より実践的な「道具の使い方」「危険予知」「草刈とアオキの伐採と、安全に倒すためのロープワークのデモンストレーション」を学び、ロープワークの中で基本的な男結び、改修する竹柵で使用する、裏十文字の男結びの実習を行いました。

正しい道具の選び方



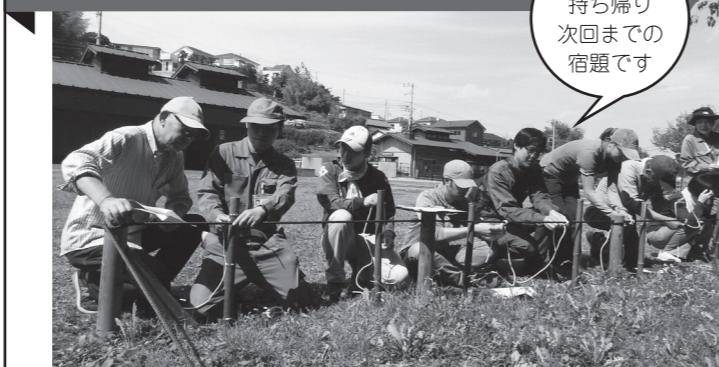
グループ別に様々な道具の中から、クイズ形式で作業に合う道具を選んで、解説をしていただきました。

正しい道具の使い方



作業に合った最適な道具を選びます。ムラサキシキブやカマツカ等の太い枝で竹の枝を叩くように落とす枝落としを学びました。

ロープワーク



青空のもと、神保講師に男結びを学んだ後、参加者にスタッフが全員付き、一列になって、男結びの実地練習を行いました。

森に興味がある方、ボランティアに初めて参加される方を対象にした「森づくりボランティア入門講座」を30年6月～7月に全3回、いはる里山公園つどいの家にて開催しました。講師は、森づくりの楽しさを教えていただいた吉武講師、より実践的な森づくりを教えていただいた神保講師。参加された皆さんには楽しみながらも、森づくりの奥深さを知り充実した3日間を過ごしていただきました。

H30年7月8日（日）**3**日目

3日目は2日間学んだことを踏まえ、森の作業地にて危険予知を行ない、安全と希少種に配慮しながらの草刈り作業、竹柵つくりのための竹の伐採、竹柵づくりを学びました。午後から、各活動団体の方々と交流を行い、ボランティア活動に従事される方の生の声を伺いました。

作業前の服装、体調チェック



森づくり作業の前に安全のために、服装や体調の確認を行いました。ヘルメットに手甲、革手袋、腰回りが、森づくりの制服です。

森づくり作業の体験（竹柵用の竹の伐採）



3班の中から2名の方が竹林に行き、危険予知、竹柵に使用する竹の伐採を行い、男結びで発生材を束ねました。

森づくり活動団体との交流



3つの活動団体の方々に、活動の状況を紹介していただき、団体ごとに分かれ、実際に活動する方の生の声を聞くことができました。

森づくり作業の体験（下草刈り）



近付きすぎると危険です

各班ごとに危険予知を行い、三日月鎌で草を刈る役、危険がないか見張る役など、作業を分担して行いました。

竹柵の改修



竹を短く伐り、かけやで打ち込み、裏十字の男結びで結びました。練習したロープと違いジュロ繩は結びにくかったようです。

森づくりボランティア入門講座

参加された方の感想

- 森の素晴らしさを感じさせてもらい、森の素敵な面をたくさん見ることができた。
- 午前中に座学を受けてから山に入ることで、今までと違った目線で山を歩くことができて楽しかった。
- 道具の使い方、ロープワークなど生活に使えることも教えて頂き、楽しくできた。
- 森づくりの意味・意義についてのお話が面白く分かりやすかった。実技のワークも楽しく、おもしろかった。